

高所作業を安全に行うために 作業者の安全を確保する器具

環境生活センター環境調査課では、業務上、高所作業を行うことがあります。高所作業とは、2m以上の高さで行う作業を指し、安全措置を取らなければならないことが労働安全衛生法などによって定められています。労働安全衛生法では、墜落による労働者の危険を防止する措置として、作業床を設け、その作業床の端や開口部等には囲い、手すり、覆い等を設けて墜落自体を防止することが原則となっています。しかし、こうした措置が困難な場合は、安全帯を使用させるなどの代替の墜落防止措置が認められています。

高所作業現場で働く方にお馴染みの安全帯は、「墜落制止用器具」という新規格の呼び名に変わりました。これは厚生労働省が新たに公表した用語です。従来の胴ベルト型やフルハーネス型の「安全帯」と近いものではありません。



胴ベルト型



フルハーネス型

環境協の
環境生活
センター
②⑧ 環境調査課

墜落制止用器具は、「胴ベルト型」「フルハーネス型」の2種類があります。

「胴ベルト型」は、主に腰部周りに帯状のベルトを固定して着用するものです。従来の安全帯の胴ベルト型には「一本つり」タイプと「U字つり」タイプがありましたが、墜落制止用器具として指定されている胴ベルト型は、「一本つり」タイプとなりました。また、墜落時に体を支える起点となるフックの取り付け位置は、作業者の腰より高くないといけません。この「胴ベルト型」は、作業箇所の高さが6.75m未満の場合しか使用できません。6.75m以上の場合は、「フルハーネス型」の使用が義務づけられています。

「フルハーネス型」は、肩・胸・腿など身体の数箇所でもベルトを固定して着用し、ランヤード(命綱の部分)が、衝撃荷重の基準によって第1種と第2種に分かれています。第1種(4.0KN以下)はフックの取り付けは腰より高い位置で、第2種(6.0KN以下)は足元でも腰より高い位置でもどちらでも取り付け可能です。

当協会では、法令遵守を第一に、作業員(職員)の安全をしっかりと確保しつつ、さまざまな業務に取り組んでまいります。

(環境調査課 石田 総和)

環境協と
公衛協の
ひもとく
③広島県公衆衛生
推進要項の制定

「蚊とハエのいない郷土建設運動」は、蚊やハエの減少とともに、伝染病の減少による医療費軽減など、さまざまな効果をもたらしました。その中で最も大きな効果は、この運動を通じて多くの熱心なリーダーや地区組織を生み出したことでした。

熱心なリーダーの声受け組織化へ 今も脈々と受け継がれる公衛協活動

地区組織活動は、衛生推進要項」を制定した内容です。ここには、公衆衛生推進委員会について次のように記されています。『公衆衛生推進委員会という統一名称を付したのは、公衆衛生に関する協力を広

く一般に周知させるためであり、県の非常勤職員の身分を保有するものではない。あくまでも自由な立場で民間人として、率先して自発的に公衆衛生推進活動をするものである。この概念は、66年経った今も脈々と受け継がれているわけです。

委員の委嘱後、各市町村で公衆衛生推進協議会が設立されました。そして、気運は全県組織の設立へと高まってきました。

10月5日11月にかけて黄色い花をたくさんつけるセイタカアワダチソウは、北米原産ですが、明治時代末期に切り花用の観賞植物や蜜源植物として導入され、

あなたの
隣の
外来種
③セイタカ
アワダチソウ

駆除した外来種で生活を豊かに うまく利用して健康増進



繁茂するセイタカアワダチソウ

現在では日本全国に分布し、広島県内でもよく見られます。

本種は、大きいもので高さ2〜3mに達するため、光を優先的に浴びることができ、種子だけでなく地下茎からも増える繁殖力の高い植物であるため、先住植物を駆逐してしま

います。このことから本種は、特定外来生物被害防止法により、生態系被害防止外来種に指定されているほか、日本生態学会によって、日本の侵略的外来種ワースト100にも選ばれています。また、ブタクサに似ていることから、花粉症の原因になると勘違いされることもあり、外来種という側面以外でも『嫌われ者』なのです。



その一方で、本種はさまざまな成分を含んでおり、うまく利用することで、私たちにいい影響をもたらす面もあります。例えば、多様なポリフェノールが含まれており、抗酸化作用をはじめ、美肌効果、動脈硬化予防効果、脂質消費効果などが期待されます。中でも、ポリフェノールの一種である「フラボノイド」には、デトックス効果やアンチ

エイジング効果、ストレス緩和効果などが期待されます。

その他にも、免疫向上効果、血流改善効果などが期待される「サポニン」や、排毒作用、消化吸収に関わる機能に特に効果を発揮する「酵素」が入っているなど、セイタカアワダチソウからたくさんの効能を得ることができ、アトピー性皮膚炎や喘息、リウマチなどの症状が緩和した例も知られています。

これらの効能を得る方法として、セイタカアワダチソウで入浴剤を作り、利用するという方法や、天ぷらやお茶を作り、食事として摂取するという方法などがあります。気になった方は作り方を調べ、試してみてください。

セイタカアワダチソウのように、外来種の中には私たちの生活に活かせるものがあります。外来種をただ駆除するだけではなく、駆除した外来種をうまく利用して生活を豊かにすることもできるので、はないでしょうか。

(地域支援課 吉井 圭平)